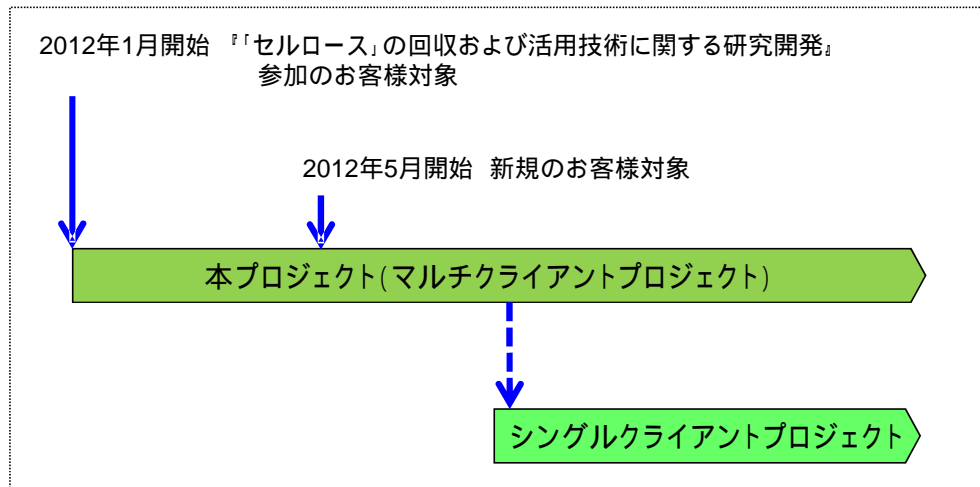


## 本プロジェクトの進め方

# KRI

本プロジェクトは、複数のお客様を対象として実施し、随時参加して頂けます。



本プロジェクトの継続研究としてのシングルクライアントプロジェクト(受託研究)の実施・参加は任意です。ただし、(株)KRIでは、同一研究は原則1社としおり、既にマルチクライアントプロジェクト『セルロース』の回収および活用技術に関する研究開発』の継続研究を実施しているテーマでのシングルクライアントプロジェクトの実施はできません。

応用に関する特許出願は、お客様が自由に行うことができます。

### (株)KRI 出願特許

特願2011-234659 セルロース溶解 特願2011-234679 ナノファイバー  
プロジェクト参加のお客様にライセンス致します。

お問合せ・お申し込み先

株式会社KRI

ナノ構造制御研究部長 山口日出樹 (yamaguch@kri-inc.jp)

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
電話：(075) 322-6832 FAX：(075) 315-3095

## マルチクライアント型技術情報開示プロジェクトのご案内

### 新規セルロース溶媒と応用技術に関する技術情報開示 持続型社会の構築と高機能性材料の創出

化石資源の枯渇や地球温暖化によるエネルギー・環境問題は21世紀における重大な問題です。バイオマス資源の有効利用は1つの対策であり、中でもセルロースの利用が注目されています。

(株)KRIでは、溶解速度に優れ、成形加工性が良好な溶液が得られるイオン液体系セルロース溶媒を開発し、2008年度にマルチクライアントプロジェクト『セルロース』の回収および活用技術に関する研究開発(Phase1)』を実施しました。

今回、さらに溶解力を高め、低コスト化の可能性もある新規セルロース溶媒を開発しました。この新規溶媒を用いることでより安価・安全・簡便なセルロース成形プロセスまたは新機能性材料の創出が期待されます。

この新規セルロース溶媒に関する技術情報を開示するマルチクライアント型プロジェクト(複数のクライアント様を対象とした情報開示プロジェクト)を立ち上げます。

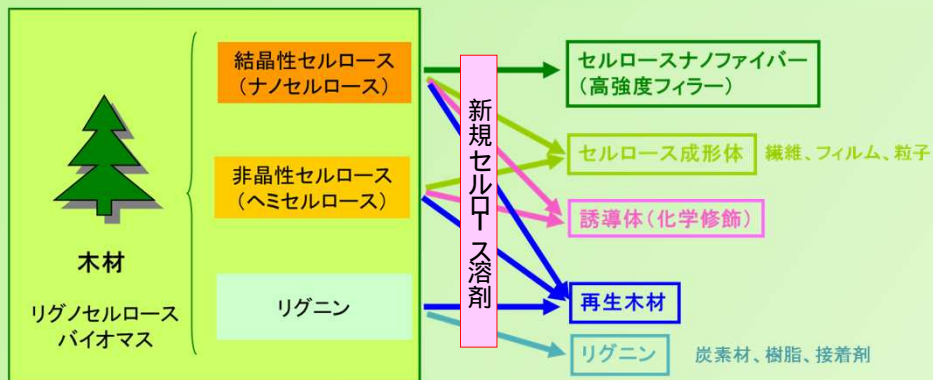
### プロジェクト日程

受付：2012年3月から

実施：2012年5月から

# マルチクライアントプロジェクト

セルロース溶解技術はリグノセルロースの各種応用分野での共通要素技術であり、お客様共有の技術とします。(株)KRIで独自に行ってきたセルロース溶媒とその活用に関する検討結果をまとめ、技術資料として情報の開示を行います。セルロース活用技術の一つとして、お客様でご評価頂ければ幸いです。



プロジェクトテーマ名	新規セルロース溶媒と応用技術に関する技術情報開示 持続型社会の構築と高機能性材料の創出
プロジェクト内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規溶媒の構造・組成とセルロース溶解性に関する技術情報開示</li> <li>セルロース溶液物性と成形性に関する技術情報開示</li> <li>セルロース溶液のセルロース反応性に関する技術情報開示</li> <li>木材溶解への応用とリグニン分離に関する技術情報開示</li> <li>溶媒精製に関する技術情報開示</li> <li>溶解・成形操作の見学</li> <li>基本特許が登録された場合のライセンス</li> </ul>
実施期間	2012年5月より随時実施 契約締結日より1か月間
費用	700万円(消費税別)
成果物	実験内容・結果を記載した報告書
成果の帰属	お客様共有

詳細は別途提案書に記載します。

# 新規セルロース溶媒の特徴

## 優れた溶解力

低温溶解、高濃度処理、高分子量セルロース溶解

## 溶解度制御性

結晶性ナノファイバー抽出

## 優れた成形性

低粘度溶液

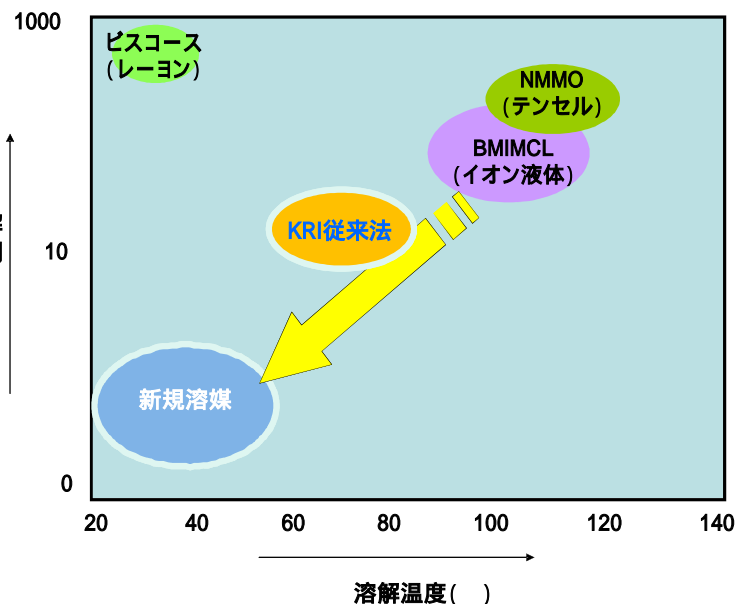
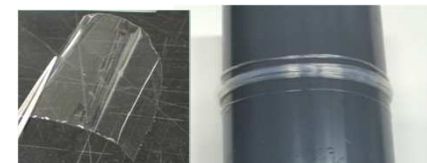
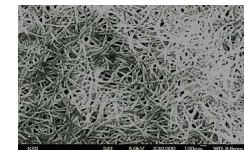
フィルム化、繊維化、粒子化

## 優れた反応溶媒

反応触媒作用、置換率制御

## 安価で環境に優しい

回収・再利用可能



新規溶媒とイミダゾリウム塩系イオン液体(KRI従来溶媒)の比較